

安全データシート (SDS)

発行日：2017年2月7日

1. 製品情報

製品名：「靴の消臭スプレー」

容 量：220ml

2. 会社情報

会 社 名：株式会社ピノーレ

住 所：埼玉県幸手市東 5-18-20

電話番号：0480-40-3361

F A X ：0480-40-3363

担 当 者：大沢 光也

3. 危険有害性

【GHS 分類】

エアゾール：区分 1

眼 刺 激 性：区分 2A

皮膚刺激性：区分 2

【GHS ラベル要素】



【危険有害性情報】

- ・極めて可燃性
- ・高压容器
- ・強い眼刺激
- ・水生環境有害性

4. 成分情報

成分名	CAS NO.	配合量
アルコール	64-17-5	80-99
消臭剤	—	0-5
抗菌剤	—	0-5
防カビ剤	148-79-8	0-5
香料	—	0-5

5. 応急処置

吸引した場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動させ、保湿・安静にし、必要に応じ医師の診断をうけること。呼吸が不規則または止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い、直ちに医師の手当てを受けること。嘔吐物を飲み込ませないようにすること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴などを速やかに取り除き、製品に触れた部分を大量の水及び、石鹼水で十分に洗浄すること。
皮膚等に変化が見られたり、炎症が生じた時には直ちに医師の手当てを受けること。

眼に入った場合：直ちに正常な流水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗眼すること。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗眼すること。すぐに痛みがなく視力に影響がなくとも障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：無理に吐き出させず、水で口の中をよく洗い、直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をするものの保護：適切な保護具（保護眼鏡、防護マスク、手袋等）着用する。換気を十分に行う。

6. 火災時の措置

CO₂ の消火器、粉末の消火器を使用

7. 漏洩時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置】

漏れた付近の周囲から人を対比させるとともに、風下の人を対比させ、火災・爆発の危険を警告すること。付近の着火源となるものを速やかに除くとともに適切な消火剤を用意すること。屋内の場合は処理が終わるまで通風等により換気をよく行うこと。

【環境に対する注意措置】

流出した内容物が河川等に排出されないように注意する事。
漏出物を直接、河川や下水に流さないこと。

【回収・中和・封じ込め及び浄化方法と機材】

乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸着させて、密閉できる空容器に回収すること。作業には火花を発生しない安全な用具を使用すること。大量の流出には盛り土で囲って流出を防止する。付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。

8. 取り扱い及び保管上の注意

技術的対策：換気のよい場所で使用すること。

狭い室内や車内では使用しないこと。

内容物の出る方向を良く確認してから使用すること。

注意事項：用途以外には使用しないこと。

その他、表示された使用上の注意を守ること。

安全取扱：火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火気厳禁。

温度が 40℃以上になるところでは使用しないこと。

使用中、直射日光の当たる場所や温度が 40℃以上になる所に放置しないこと。

特に、夏場の自動車内やコンクリートや砂地、路面上に置かないこと。

炎に向けて使用しないこと。

容器の転倒、落下など衝撃を加えないこと。
できる限り吸入しないようにし、眼や粘膜との接触を避けること。

保管：破裂の原因になるので、火気の近くや直射日光の当たる場所など温度が 40℃以上となる場所に保管しないこと。特に暖房器具の付近など熱気が当たるところや自動車内には置かないこと。

換気の良いところに保管すること。

錆の発生しやすい水、湿気の多いところに放置しないこと。

子供の手の届かないところに保管すること。

キャップをして保管すること。

技術的対策：エアゾール製品は性質上、経年劣化に伴い缶及び各部品が劣化し、ガス抜けが起こる可能性があるため、長期保存は避け、なるべく早めに使い切ること。

その他、表示された保管上の注意を守ること。

混触禁止物質：情報なし

安全な保管条件：涼しい、換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料：情報なし

9. ばく露及び保護措置

設備対策：通常の使用では特別な設備は必要ない。

大量に噴射する時はガス検知器を設置し、局所排気装置等を設置すること。

大量に噴射する時は設備・換気扇等の電気設備には防爆構造のものを用いること。

等時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にすること。

保護具：通常の使用では特別な保護具は不要。

呼吸器用の保護具は必要場合、有機ガス用防毒マスクを着用

手の保護具は必要な場合、保護手袋（有機溶剤用）

目の保護具は必要な場合、保護眼鏡（側板付き）

10. 物理的及び化学的性質

	原液	LPG
形状	液体	液体及び気体
色	白濁色	透明
臭い	香料臭	無臭
pH	情報なし	情報なし
沸点	情報なし	-42℃
引火点	13℃以上	-104℃
爆発範囲	上限 19.0% 下限 3.3%	上限 9.5% 下限 2.1%

11. 安定性及び反応性

化学的安定性：通常の使用・保管条件では安定。

危険有害反応性の可能性：高温の表面、火花または裸火により発火。

避けるべき条件：酸素に富む物質（強酸化剤等）との接触。

混触危険物質：情報なし

危険有害性のある分解生成物：燃焼した場合、不完全燃焼などにより一酸化炭素などが生成する可能性有り

12. 有害性情報

皮膚腐食性：データなし

刺激性（眼・皮膚）：陽性

感作性：陰性

急性毒性：データなし

亜急性毒性：データなし

慢性毒性：データなし

ガン原性：データなし

変異原生：陰性

13. 環境影響情報

魚毒性：水生生物に対して有毒性有り

14. 廃棄上の注意

残余廃棄物：捨てる時は、完全に使い切ってから、火気のない屋外で噴射音が消えるまでボタンを押し、または、ガス抜きキャップなどを使用しガスを抜くこと

汚染容器・包装：空容器は完全に使い切ってガスを抜いたことを確認し、不燃ゴミまたは産業廃棄物として各自治体の規則に従い廃棄すること。

15. 輸送上の注意

国際規則：航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う

国連番号：1950（副次危険性等級 SP63 6.1）

国連品名：エアゾール（AEROSOLS MAXIMUM 1litre）

国連分類：class 2.1（引火性高圧ガス）

容器等級：容器等級 II

海洋汚染物質：情報なし

国内規則：【陸上輸送】消防法、労働安全衛生法等の輸送について定めるところに従う

【海上輸送】船舶安全法の輸送について定めるところに従う

【航空輸送】航空法の輸送について定めるところに従う

16. 適用法令

消防法：危険物第 4 類アルコール類（指定数量 400L）

施工例別表第 1（危険物）引火性の物、可燃性のガス

施工例第 18 条（名称等を表示すべき危険物及び有害物）非該当

有機溶剤中毒予防規則：非該当

化学物質管理促進法：指定科学物質リスト（PRTR 法）非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

高圧ガス保安法：第 2 条（液化ガス）、第 3 条（適用除外）

一般高圧ガス保安規則第 2 条（可燃性ガス）、第 6 条（技術上の基準）

施行令第 2 条（適用除外） 政令関係告示第 4 条

航空法：施工規則第 194 条引火性ガス、引火性液体

船舶安全法：危規則告示別表第 1（エアゾール）

17.その他

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解したうえで、活用されるようお願い致します。従って、当データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

引用文献：各原料 SDS 参照